歴史文化基本構想の概要

津和野町の文化財を将来にわたって的確に保存・活用していくため、住民の参加 と協力による「体制」作りと「調査・活動」を基本方針とし、「城下町の史跡と 文化」をはじめとした8つの関連文化財群と、「天領と川が育んだ町並み景観」 など10箇所の歴史文化保存活用区域などに設定された保存・活用の方策を実施 していく。

観光拠点形成の方向性

- ・町内文化財等の地域資源の魅力向上
- ・旧城下町と旧天領エリアをつなぐ 交通体系の充実
- 回遊性のあるまちづくり

観光に関する課題

- 誘導、導線の整備
- ・施設の案内機能および駐車場の整備
- ・周遊にかかるイベントの連携
- ・旧天領エリアの魅力発信





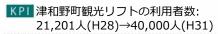
滞在コンテンツの作成

観光客が少ない旧天領2地区に観光客を呼び込むことを目的に、地元郷 土史研究グループや専門家らと一緒に文化財(観光素材)の洗い出しを 行い、WEB等の素材として即活用できる観光素材調査台帳を整理した。

KPI 旧天領2地区を拠点とした体験ツアーの実施: 0回(H28)→12回(H31)

津和野城跡VRアプリ導入のための素材制作

観光資源である津和野城跡の観光客の増加を目的として、津和野城跡の VRアプリを導入するための素材を制作した。まずは、城の天守につい て絵図や歴史資料をもとに学識経験者の指導に基づき V R技術による素 材を制作した。



旧天領地区の観光ガイド養成

旧天領地区を観光周遊するためのガイドの人材育成を目的として、当該 地区の歴史について学習会を実施した。学識経験者を講師とし、対象は 協議会メンバーを基本としながらも広く公募を行い多くの参加者が知識 を深めた。

KPI 文化観光ガイドの登録者数:2人(H28) →12人(H31)





旧天領体験イベントの実施と観光実態の調査

旧城下町と天領2地区とを繋ぐ魅力的なプランを提供して観光客を増や すため、連携したまち歩きイベントを開催し旅行商品開発の検討を行っ た。あわせて観光客を対象とし、観光志向や交通手段の実態調査を実施

KPI 体験プラン、ツアーの数:0回(H28) →12回(H31)





(1)魅力ある観光体験プランの開発

観光素材の調査成果を基に開発した観光体験プランで実施したイベント では、町外から多くの参加者があり、魅力的なプランの提供が誘客に繋 がった。

観光振興の協力者の増加

観光素材調査や観光体験イベントを通じて、本事業の取組みについて地 域住民への周知を図ることができ、観光振興への協力者を増やすことが できた。



原賑わい創出: 「別がす会/日戸 「別がす会/日戸 「別がす会/日戸 2)創出推進20分割教育委員 協史庭会

> 平平補平構 成成助成想 B 5

